おばあちゃんち

二年　小俣　愛理

おばあちゃんちに行きました。

おばさんがたき火につかう木をのこぎりでおばさんがたき火につかう木をのこぎりできっていました。ふるくなったベンチの木です。わたしが、

「やってみたい。」

と言って、やりました。五十かい六十かいギコギコしました。木のこなパラパラおちました。こんなになるんだとびっくりしました。

のこぎりできった木をもやしました。小さかった炎がうちわであおぐとだんだんもえてきます。黄色い火からオレンジになって、こしぐらいの大きさのオレンジになって、しばらくすると、炎になりました。うちわであおぐのをやめました。草とみかんのかわと竹のかわをもやしました。みかんのかわといいにおいでした。たぶん竹は竹の子をきったときのにおいでした。

　ハチを見つけました。4センチくらいのハチがブロックのあなにいました。おばさんが大きいこえで「わー。ハチだ。ハチだ。」と言ってびっくりして、はしってにげました。

　きゅうに言うからおもしろかったです。おじさんがハチのすをとりました。てのひらくらいの大きさで丸いかたちでした。ハチミツの色の黄色でした。中にようちゅうがいました。ちょっとだけもぞもぞうごいていました。

　かえるじかんになりました。車にのりました。みんなが大きく手をふりました。

　20 × 20